

2 健やかな体

具体的な内容		自己評価A	学校関係者評価	学校関係者評価委員(学校評議員)のコメント
体力や健康への関心を持ち、進んで体力の向上に努め望ましい生活をしている	前期	良好	良好	工夫した体育的行事や業間活動が行われ、新体力テストの結果も良好である。なわとび運動や水泳では〇段など目標設定をして意欲をもたせてもよい。メディアコントロールデーへの取組もよい。スマホやゲーム機の使い方に関しては、各家庭のルールを吸い上げ、PTAで協議し、全体でのルールを決めて取り組むことも考えられる。 来年度から部活動が社会体育化へ移行されるが、これまでの平元小のよさを継承し、できるだけ多くの子どもに参加してほしい。
	年度	良好		
評価指標		主な取り組み		自己評価B 前期 年度
③体力の向上と望ましい生活習慣の形成		体育指導の充実、業間運動の継続(マラソン・縄跳び)・外遊び等の奨励		4 4
		健康教育、生活リズムチェック、食育、「早寝・早起き・朝ご飯・歩いて登校」		3 4
④危険回避能力の向上		防災教育、交通安全教室、避難訓練、防犯教室、ネット安全教室		4 4

学校の改善策	【前期→後期】
	<p>③ 体力テストの全国・県平均をテスト前に合わせて体育館に掲示した。子どもの意欲付けにつながったので今後も継続したい。加えて、体力テスト後に学校の平均値を付け足すなど、情報の更新も継続していきたい。</p> <p>③ 体育館倉庫の整備として用具の補修や整理を行ったので、用具を使いやすくなった。今後も環境の維持に努めたい。</p> <p>③ マラソン・なわとびが業間運動として定着しているが、子どもたちの間でマンネリ化し始めているため、カードを新しくたり頑張っている児童を紹介したりして意欲付けを図ってきたい。また、健康委員会を通じてアイデアを募集し、全校でできる運動を紹介したりミニ大会を開いたりすることで、全体でスポーツを楽しむ環境づくりを推進していきたい。</p> <p>③ 前期も何度か研修報告会などで頂いた資料を配付して研修の充実に努めた。後期も機を見て積極的な情報提供をしていきたい。</p> <p>④ 前期は、県事業を活用し、子どもと保護者がインターネットセーフティについて学ぶ機会をもつことができた。後期は、メディアコントロールデーカードを活用しながら、望ましい取組を紹介するなどして、メディアとのよりよい接し方について啓発していきたい。</p>
	【後期→次年度】
	<p>③ 今期は、マラソンタイムの継続に加えて、なわとびタイムで毎週金曜日に「1分間チャレンジ」を設けるなど、体力の向上における新しい取組を行うことができた。次年度も子どもの運動への興味・関心を高める魅力的な体力づくりへの取組を推進していきたい。</p> <p>③ なわとびタイムに合わせて体育館に新たになわとびコーナーを設置した。掲示を見て新しい技に挑戦した児童が多かったので、次年度もこのような取組を継続するとともに、その運動期間に合った情報を提供していきたい。</p> <p>④ 今期から配布したメディアコントロールデーカードを通じて、児童と各家庭に望ましいメディアとの接し方や生活習慣について呼びかけることができた。また、集計結果を保健室前にグラフで掲示したり「ほけんしつだより」に掲載したりして周知に努めたが、次年度も継続していきたい。</p> <p>④ 警察等外部機関と連携しての交通安全教室、防犯教室、ネット安全教室の実施、年3回の避難訓練の実施、防災教育の実施等により、危険回避能力は向上してきている。次年度以降も外部機関と連携しながら、より有効な手段を模索して危険回避能力の向上に努めていきたい。</p>

【各種データ】

保護者アンケート	前期		後期	
	平均	肯定率	平均	肯定率
⑥ 子どもは、「早寝・早起き」が身に付いている。	2.9	68	3.0	80
⑩ 学校では、業間運動や体育的行事等を通して、体力づくりに努めている。	3.7	98	3.7	99

児童アンケート	前期		後期	
	平均	肯定率	平均	肯定率
① 夜遅くまで起きていないで、早寝・早起きを心がけていますか。	3.1	77	3.2	77
② 毎日、しっかり朝ご飯を食べて登校していますか。	3.6	92	3.8	96
③ 歯みがき、うがい、手洗いなどをきちんと行い、清潔に心がけていますか。	3.6	90	3.6	96
④ 健康のことを考え、好き嫌いをせずに食べるようにしていますか。	3.4	84	3.3	83
⑤ テレビ・インターネット・ゲームなどのメディアは、時間やルールを守って使っていますか。	前期データなし		3.5	89
⑥ 体力を付けるために体育の時間やマラソン、縄跳び、スポ少活動などをがんばっていますか。	3.6	97	3.9	99

自己評価A及び外部評価の評価区分
○きわめて良好
○良好
○おおむね良好
○やや不十分
○努力を要する

自己評価Bの評価基準
5 実現状況は極めてよく意識も高い／達成率91%以上、前年度比108%以上
4 実現状況は良好で意欲もある／達成率80~90%、前年度比103~107%
3 実現状況は概ね良好／達成率60~79%、前年度比98~102%
2 実現状況はやや不十分で取り組みが不安定／達成率50~59%、前年度比93~97%
1 実現状況は不十分で努力を要する／達成率49%以下、前年度比92%以下